

日本統計学会第49回大会

昭和56年度（第49回）の日本統計学会総会および研究報告会は、7月13日（月）から15日（水）までの3日間
にわたり、関西大学（吹田市）において開催された。

本年は、日本統計学会の創立50周年に当たることとて、その記念特別講演会および討論会をはじめ、盛り
沢山のプログラムが組まれた。研究報告会における本年度の共通テーマも6題の多きに上ったが、そのうち
の「人口統計の発展と問題点」（座長：亜細亜大学・森田優三）に関する報告は次の4題であった。

人口静態統計の発展と課題……………北山 直樹（総理府統計局）

日本における人口移動統計の発展と問題点……………大友 篤（宇都宮大）

人口動態統計の問題点……………前田 正久（I C U）

出生統計について……………河野 稠果（人口問題研）

このほかにも二つの「人口」に関する部会が設けられた。他部会の研究報告のなかのものをも含めて、人
口に関連のある報告を列挙してみると次のとおりであり、近来にない多きを数える。

〔人口(I)〕

地域間人口移動と将来地域人口推計……………黒田 俊夫（日大人口研）

岡崎 陽一（人口問題研）

南条 善治（福島県医大）

鈴木 啓祐（流通経済大）

ほか

夫婦出生力の将来推計方法の試み……………伊藤 達也（人口問題研）

山本 千鶴子（ ）

〔人口(II)〕

ジップの順位規模法則の「可分解性」の実証的研究……………黒田 俊夫（日大人口研）

鈴木 啓祐（流通経済大）

ほか

障害者統計について……………大橋 隆憲（日本福祉大）

出生数の季節変化……………鈴木 義一郎（統計数理研）

我国100年間の出生の性比……………臼井 竹次郎（元公衆衛生院）

方波見重兵衛（公衆衛生院）

福富 和夫（ ）

金子 功（ ）

〔その他〕

国勢調査と統計環境……………大屋 祐雪（九州大）

坂元 慶行（統計数理研）

森 博美（法政大）

浜 砂 敬郎（九州大）

わが国の衛生統計資料にもとづく死因別死亡構造の変遷に関する研究……………根岸 龍雄（東京大医）

内藤 雅子（ ）

その1 腎炎・ネフローゼおよび消化性潰瘍

その2 胃腸炎、肺炎、気管支炎

商圏の推計をめぐる……………新家 健精（福島大経済）

星野 洪二（ ）

なお、50周年記念討論会は「日本の統計・回顧と展望」と題し（座長：東京大学・竹内啓）、各分野から
6名の討論者が出席し、フロアーからの発言も交えて活発な討論が行なわれたが、人口の分野からは本研究
所の岡崎陽一部長が討論者として参加した。（山口喜一記）